



01. 餅つきを体験する子どもたち。02. 自分たちで作った餅を味わう。

お正月休みを楽しんでほしい

町商工会で餅つき体験を開催

町商工会青年部は1月3日、町商工会で餅つき体験を開催しました。

これは遠方への外出がしにくいコロナ禍の正月休みを子どもたちに楽しんでもらおうと、初めて企画されました。

この日は、10升のもち米を用意し、子どもたちはもち米が蒸し上がると、臼の近くに列を作り、商工会の青年部員に手伝ってもらいながら、小さなきねを力いっぱい振りおろし餅つき体験を楽しみました。

また、できあがった餅は、あんこやきなこを添えたり、お雑煮にしたりして振る舞われ、来場者たちは「おいしいね」と言いながら、味わっていました。

Town topics
1/3



Town topics
12/12

みんなで考える防災の継続を

町総合防災訓練および防災シンポジウムを開催

紀伊半島大水害から10年の節目を迎え、町と自主防災組織連絡協議会は12月12日、総合防災訓練および防災シンポジウムを開催しました。

これは紀伊半島大水害から10年の節目を迎え、その教訓や今後起こるかもしれない大地震への備えを目的に開催されたもので、午前中に行われた総合防災訓練では、町内の自主防災組織が避難や炊き出しなど各種訓練に取り組み、参加した約1,600人が防災意識の高揚を図りました。

午後からは、まなびの郷において防災シンポジウムが行われ、町防災行政総合アドバイザーの松尾一郎さんが「備えは命を守る」をテーマに講演した後、紀伊半島大水害から10年をテーマに、近畿地方整備局の小島優河川部長、紀南病院の森本真之助医師、津本地区自主防災会の大崎やす子さん、西田町長がパネル討論を展開し、それぞれの取り組みを報告しました。



01. 炊き出し訓練を行う鶏殿6組自主防災会。02. 西田町長。03. 近畿地方整備局の小島河川部長。04. 紀南病院の森本医師。05. 津本地区自主防災会の大崎さん。06. 町防災行政総合アドバイザーの松尾さん。07. 高台に避難をする鶏殿3組自主防災会。08. 防災シンポジウムの様子。09. コンパネトイの組み立てを行う神内自主防災会。

ウミガメ公園でプロジェクションマッピング

紀南高校生の作品などが投影される

ウミガメ公園では12月22日から1月3日にかけて、紀南高校、松阪商業高校、皇學館大学の生徒・学生たちが作成したプロジェクションマッピングの上映を行いました。

これは昨年に引き続き2回目の開催で、今回、紀南高校の生徒たちは、ウミガメや紀州犬など、東紀州を紹介する映像を約7分間投影しました。生徒たちは、「みんなで協力し合ってひとつの作品ができました」と話していました。

ウミガメ公園に立ち寄った人々は足を止め、ウミガメ公園物産館の壁面に映し出された映像と音楽を楽しんでいました。



紀南高校の生徒が手掛けたプロジェクションマッピング

Town topics
12/22 ~ 1/3

家族で自然を満喫

浅里でのんびり自然体験会を開催

飛雪の滝キャンプ場と公益財団法人熊野林業、くまの里山体験「のら」は1月16日、飛雪の滝キャンプ場で「浅里でのんびり自然体験会」を開催しました。

これは、飛雪の滝キャンプ場の自然環境を活用し、自然素材を使用したクラフトワークショップなどを行いながら家族で楽しんでもらえることを目的に行われました。

自然体験会では、サウナハット作りや木琴作りなどのクラフトワークショップやモルック&テントサウナ体験などが行われ、木琴作りの参加者たちは、親子で音の調整や組み立てなど協力し合いながら、ワークショップに取り組んでいました。

Town topics
1/16



01. 協力して木琴づくりを行う。02. モルック体験をする子どもたち。



1年ぶりの開催で活気戻る

紀の宝みなと市9周年記念市を開催

新鮮な海産物や農産物、弁当、惣菜、フリーマーケットなどで人気の「紀の宝みなと市」が12月11日、9周年記念市として鶏殿港で開催されました。

みなと市は、毎月第2土曜日に開催してきましたが、新型コロナウイルスの影響で令和2年12月以降中止となっていたため、今回の開催は1年ぶりの開催となりました。会場には、新鮮な魚や米、野菜、果物、手作り雑貨など、25のお店が並びました。

また、大人気の釣り堀も行われ、参加者たちは、水しぶきを浴びながら釣りを楽しんでいました。そのほか買い物や抽選会など、会場は多くの来場者でにぎわっていました。

Town topics
12/11